豊かな心と生きる力をもち、自ら考え、やりぬく小津の子

小津小学校学校だより NO. 6
令和８年 10 月５日

10月 おづっこ

おもいを伝え合う子　つづける子　つよくしなやかな子　こころあたたかな子

秋本番 いろんなことにチャレンジ

～節目を意識して、自分を成長させよう～



ようやく朝夕が過ごしやすくなり、秋風が感じられるようになりました。しかし日本各地で、豪雨による甚大な被害が出ています。被災された地域に一日でも早く日常生活が戻ってきますようにと祈らずにはおれません。当たり前の生活が送れることに感謝して、日々の学習や活動に取り組みましょう。

さて、小津小学校の創立記念日は 10 月 13 日です。今年で満 152 歳を迎える小津小学校の歴史について、改めて振り返ってみましょう。小津小学校は明治７年（1874 年）に、杉江に久敬（くけい）学校、山賀の慶先寺（きょうせんじ）に知道（ちどう）学校、三宅の照養寺（しょうようじ）と蓮生寺（れんしょうじ）に醴泉（れいせん）学校の３つの学校が開校したのが始まりです。その後、明治 34 年（1901 年）10 月 13 日に、現在の小津小学校の場所に小津村立小津尋常小学校が建てられました。当時の児童数は 331 名、学校を建てるのに必要な費用は、すべて地元の方々の寄付によって建てられたそうです。また、本校のシンボルツリーである前庭の松の木は、現在の場所ではありませんが、明治 34 年に学校が建てられた時以来のものだそうです。小津学区の人々が、教育のために尽力されたことが伝わってきます。



これまでも、地域の皆さまから「小津学区教育後援会」として、前庭の松の手入れ、芸術鑑賞会への補助、運動会で使う長椅子やテントの購入など、多大なご支援をいただいています。児童の皆さんは、その思いを継いで学んでいるということを忘れず、これから始まる様々な行事や活動に一所懸命取り組んでほしいです。

行事の成功も大切ですが、そこに至る準備や練習、活動後の振り返りなど、一つひとつの取組があってこその学校行事です。子どもたち自身が自分の成長を感じたり、今後の努力点に気づいたりすることができるよう、全教職員で指導・支援を行います。身体や心を動かして、仲間とともに成長するおづっこたちの姿が見られることをぜひ楽しみにしてください。（文責：植村）

子どもたちの安全確保のために（お願い）

●自家用車で送迎される際、登園・降園の時間帯（7:30～9:00、13:30～16:15）に、こども園と会館の間の道路を通行することはお控えください。

●来校される際は、保護者名札を着用のうえ、職員にお名前をお伝えください。とくに下校について、通常の方法と異なる場合は必ず連絡帳や電話でお知らせいただき、その内容をお子様にもしっかり伝えておいてください。

※本校では、限られた勤務時間の中で、全校児童と保護者の皆様に対しできる限り丁寧な対応を心掛けています。教職員の勤務時間は８時 20 分から 16 時 50 分までとなっておりますので、緊急の対応を除き、時間内での対応にご協力くださいますようお願いします。